



後藤英鶴 書(県三)



発行 県立富士宮北高等学校同窓会
北 嶺 会
静岡県富士宮市宮北町230 (北高内)
電話 (0544) 27-2533(代)
編集 北 嶺 会 広 報 部 次 夫
印刷 (株) き う ち い ん さ

校舎東側・記念庭園より富士を望む
内藤 修次 撮影



昨年末には県立北高創立五十周年記念式典並びに諸事業が各関係者の御支援により盛大に挙行されました。これに對して茲に実行委員長として心から感謝を申し上げますとともに、浅学菲才が為に行き届かぬ点多々あり、深くお詫びを致します。

なお以前より本部執行部がこの節目を転機に大きく前進しようと、約一年間精力的に準備を重ねて、今般総会の席上、会則の変更から役員人事の変更、今後の運営や事業その他実態に則



北嶺会々長 岡村和郎

北嶺会館建設に向って

した基本姿勢を整えて御承認をいただき、重ねて今回は我が母校創設に最も緑の深い望月三三先生に足労を賜わり、誠に意義あるお話しを拝聴することができました。

このように役員が常に鋭意努力する原動力は、言うまでもなく毎年の卒業生が一人一万円の終身会費をすすんで納入して下さるからで、今後は先輩の立場から極力年金費千円を終身会費一万円に変更していただき、その分は総て新しい強化事業に活用すること

ができて、似たるを友となす。連帯の輪を確実に拡充することができま。具体的には、会員組織の団結を推進する組織委員会、活動力の財源に欠くことのできない会費促進委員会、北嶺だよりなど情報伝達の広報委員会、北高の体育部及び文化部の振興を助ける各後援委員会、統一より一層の強化を志す北嶺会館建設準備委員会と社会生活相談委員会であり、以上いずれも云うは易く行い難いものばかりですが、建設基金はすでに二

千円以上あり、いつの日か三千人の会員が終身会費を納入して下さい、いよいよ此の時から学校やPTAとも連携を保ち、早急に敷地の確保や設計に入りながら、加えて北高後援会の財産処分、更に会員事業主を中心とする多額の寄附金のご依頼など奔走する予定であります。しかし、何よりの基本は会員平等の常識の原則が前提であり、何卒終身会費促進にご協力下さいませ。偏見をお願いする次第です。生活相談につきましては、とりあえず北嶺会事務局を窓口と致しますが、将来は北嶺会館に専従者を常駐させて、会員が健全な家庭生活を営み、社会に貢献できるように、親身になって就職先の悩みや企業の紹介、人生案内に至るまで、信頼できる方々が適任の相談に応じます。

従ってすでに担当する各委員会数名の役員諸氏を始め、学年幹事、クラス幹事、並びに各支部や職域を代表する方々は毎々多忙中と知り、も率仕をお願いしております。故に今後共よろしくご厚情を寄せて下さいませ。重ねてお願い申し上げます。

昨年の今頃は創立50周年記念式典に向けて何回もの役員会やら記念庭園作り等大変な頃でした。今更ながら大きな記念事業であったと思ひます。記念庭園の植物も見事に育ち、庭園らしくなりました。炎天下の中を労働した苦しみは今一人て校庭を見廻る度に當時をかみしめています。お陰様にて今は生徒が気持ちよく登校の憩いや運動の場として利用しております。未永く記念庭園として維持してゆきたいと思ひます。

六月十九日の北嶺会総会には来賓として出席しました。昨年の倍以上の同窓生が出席され盛況でした。母校を思い、発展を期待する先輩方のお気持ちに私に伝わり、北高を背負うべき責任の重大さをひしひしと感じた次第です。岡村会長のもと、こんなにも強力な後援者がいることを心から嬉しく思っています。それは全員で校歌と北嶺讃歌を歌いあげた、その声の大きさがその熱意を感じとられました。それからみると現在の高校生は声の余りにも小さい。私は日頃、生徒

には声を大きく出せと叫んでいます。八月の関東北嶺会にも出席して皆様方とお会い出来ますことを楽しみにしています。

今年には創立51年目であり本校にとっては50周年を踏み台とした飛躍の年であるを受け、職員一同が北高の前進を目指してより組んでいます。今年には地域の要望にこたえるべく進学率の向上とレベルアップを期して、教育課程まで変更し、より強固な受験態勢をとりましたので遠からずその成果が期待されます。こうした受け皿を作りしたので、優秀な生徒を送り込んで下さるよう側面よりご協力をお願いいたします。

運動面でも頑張っており、今年のインターハイには庭球男女8名、バドミントン2名、相撲1名、計11名が出場いたします。東部の県立高校では二位の出場数です。野球部は三月末に富士宮市の姉妹都市サントモニカ市の代表として遠征してきました。単独チームで海外へ出かけたのは県内でも珍らしく、本校にとっても記念すべき一頁を飾りました。その他陸上柔道、サッカーを始め多くの部が活躍しております。それにしても「覇氣・信念・明朗」の校訓と、それを具現化すべく「やる気・負けん気・根氣」の三気は正に本校の誇る北嶺精神であり、闘志をかきたてる絶好な言葉であると信じます。気力



校長 藤曲万寿男

北嶺会だよりによせて

は自分のかくれた能力を最大限に引き出し発揮させるものであり、これは人間の行動総てに通ずるバックボーンであると思ひます。現在の青少年は苦しさ辛抱する力(耐性)が育っていないので、感情を爆発させて直接行動をするようになり、これは甘えの構造から出ているであらう。私はこれらを払拭するためにも北嶺魂なるものを生徒に伝えてゆきたいと思ひます。

北嶺会の皆様、どうか母校北高の健在なるを信じて側面よりのご協力、ご支援のほどよろしくお願いいたします。



赴任の挨拶

教頭 高 塚 弘



生徒・保護者・卒業生が一体となつて努力することが必要だと考えます。

本年度の人事異動により、図らずも富士宮北高等学校勤務を命ぜられました。私は御前崎町の出身でありまして、幼少の頃より、はるか駿河湾上に聳えた富士山を眺めながら、その麓の生活はどんなに素晴らしいことだろうと想像して参りました。富士宮北高等学校に着任し、まず校歌を拝読しますと、「波路はるけき駿河湾」とあり、本校にお世話になることが何れかあったように感じます。

さて、学校が飛躍するに、教職員は勿論のこと、

大学進学により成果をあげなければならぬと聞いております。

北嶺会の皆様方の御指導を戴き、微力ながら精一杯頑張りたいと思います。一層の御指導、御鞭撻のほどをお願いし、一言御挨拶と致します。

昭和三十年頃

今井 吉久



私が清水から転勤してきたのは昭和二十九年、県立移管後二年目の四月で、まず校地のあまりにも広いことに驚いた。それから三十八年三月までの九年間、校内の一角に住みながら在職することになった。

着任早々、生徒の白尾山の事件が起こり、えらい所へ来てしまったと思ったが、職員間ではよく議論もした。職員間ではよく議論もした。

断片的な文章になってしまったが字数の余すところがつきたので筆をおく。



一事が万事

株式会社 西川 (四期旧商) 社長 西川 省吾



昨年は北高創立五〇周年おめでとございました。私が入学した(当時は大宮商業学校でした)その年の十二月八日、大東亜戦争が勃発して校長先生は相葉繁校長先生でした。羅気・信

吹奏楽部と北嶺讃歌

野村 藤男



私にとって、北高は母校であり、その母校に勤務出来る事は、この上ない幸福に思ひます。同時に責任の重大さを感じております。先輩稲葉房穂先生同様私も人生の三分の二を北高と共に過ごさせてもらっております。私が卒業した時は戦後の混乱期を過ぎたばかりの、社会的にもまだまだ大変な年であり、就職した

北嶺会の動き

昭和62年度 事業報告

- 62年4月7日 入学式 役員出席 (北高)
 - 62年5月30日 岩田豊校長先生送別会 役員出席 (高砂校)
 - 62年6月4日 創立50周年記念事業全体会議 (北高)
 - 62年7月5日 62年度総会120名出席 (高砂校)
 - 7月26日 関東北嶺会総会 役員出席 (三菱重工業木金会館)
 - 8月1日 「北嶺会だより」15号発行 全会員に発送
 - 9月12日 創立50周年記念事業全体会議 (北高)
 - 10月9日 創立50周年記念事業最終全体会議 (北高)
 - 11月14日 創立50周年記念式典(北高)
 - 63年3月2日 北嶺会入会式 役員出席 入会者40名 (北高)
- 昭和63年度事業計画
- 1 活動基盤の確立のため 基礎組織の強化
 - 2 財政の健全化を図るため 終身会員の増進
 - 3 会報「北嶺会だより」を年一回全会員に配布
 - 4 北嶺会館建設への前進
 - 5 体育、文化後援事業
 - 6 社会生活相談事業
 - 7 会議の開催
 - 8 その他の事業
 - 以上

一〇〇〇名の終身会員 獲得をめざして

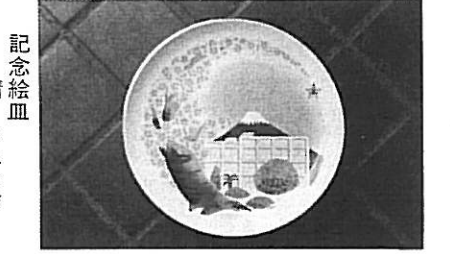
六十三年六月十九日(日)

総会行われる 二二〇名が参加

玲瓏高き富士の嶺・波路はるけき駿河湾……懐かしい校歌の斉唱と共に63年度北嶺会総会は昨年と同様ここ富士宮市神田川町・高砂殿において華々しく開会した。母校後援諸君のブラバンド部の演奏に合せた合唱は久しぶりである。誰もがこの一瞬、学生時代を思い浮かべ感慨にひたつたことであろう。本年は岡村会長をはじめ役員諸兄の永年の夢であった三百人総会を何とか実現しようとする協議を何回となく行い、実施に当たったところ総勢二百三十名の参加で、夢もあと一歩という状況の中、西川新幹事長の手際よく司会を午後四時開会、杉沢副会長の開会のことば、つづいて議事に先立ち岡村会長が北嶺会の組織を充実拡大し、夢の同志会館建設を皆の手でと挨拶し議事に入った。



六十二年度事業報告及び決算報告が内藤副会長、大石会計よりなされたが、特に六十二年度は創立五十周年の年でもあり、この記念事業が会員各位の絶大な協力のもと、盛大に挙行された事に対する感激の念をこめたものであった。続いて会則変更、役員変更と進み、六十三年度事業計画が遠藤副幹事より説明があり、この中で特に目を引いたのは会員が健全な社会生活を営み、社会に貢献出来るよう相談委員と専門委員を置いて就職先の悩み、就職先の企業紹介、人生相談など必要に応じた相談事業を行う「社会生活相談室」を設置した事である。又、六十三年度予算案は渡辺英賢会計より説明がなされ、満場一致で承認された。続いて来賓としてこれらた富士宮市長・吉田廉氏、富士宮市青英財団理事長・望月三三先生、学校長・藤曲万寿男先生の順で心温まるご祝詞を頂戴し、明石静西支部長の閉会のことばで成功裡に終了した。



創立五〇周年記念式典



昭和六十二年十一月十四日、菊花薫る秋晴れの下、母校において富士宮北嶺創立五十周年記念式典が盛大に挙行された。

思えば昭和十二年十一月十八日郷土の偉人望月軍四郎先生が建学の志を収め、郷土の若人子弟の教育のために、その崇高な精神と限りない情愛の下、創設以来早や半世紀を迎えた。

その間幾多の成功者を輩出し、今なお次代をになう

鳳雛が続々と巣立っていることを思う時、万感胸を打たれた者は大半であろう。母校に於いて富士宮北嶺創立五十周年記念式典が盛大に挙行された。

思えば昭和十二年十一月十八日郷土の偉人望月軍四郎先生が建学の志を収め、郷土の若人子弟の教育のために、その崇高な精神と限りない情愛の下、創設以来早や半世紀を迎えた。

その間幾多の成功者を輩出し、今なお次代をになう

クラス会紹介

昭和十四年四月、私達は大宮商業学校に入学した。開校二年目で、県下一とわたれた広い学園も整備途上で、一周四百mのトラックが自慢の種であった。慶応大学をモデルにしたといわれる校舎配置で、本館、講堂、武道場を中心に、東に工業、西に商業の校舎が翼のようにひばりヶ丘に羽をひろげていた。

通称「商工学校」と呼ばれていたが、形式的には別の学校。実は兄弟校で学校行事はほとんど一緒だった。

尚友会には三原則が示されている。①友を尚ぶ(友

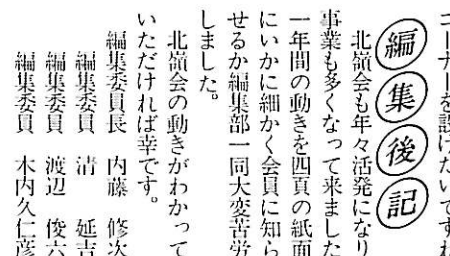
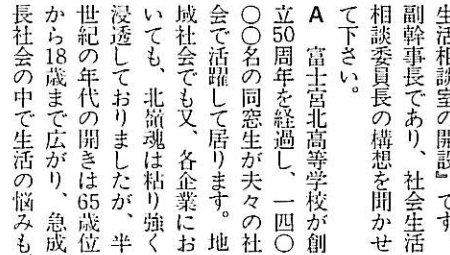
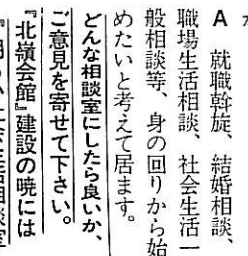
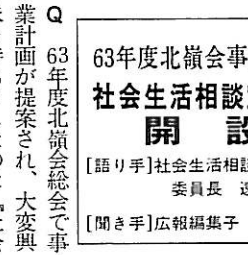
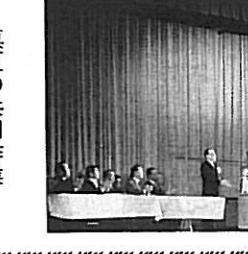
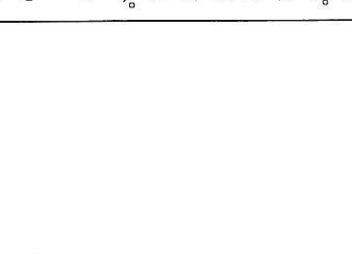
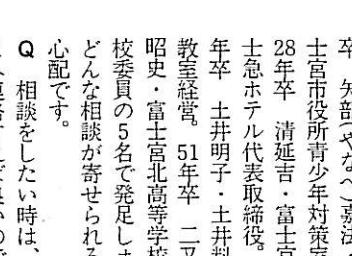
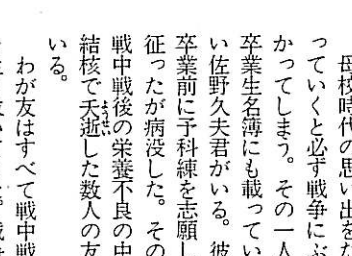
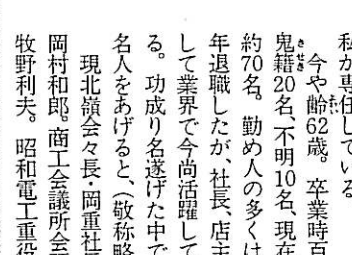
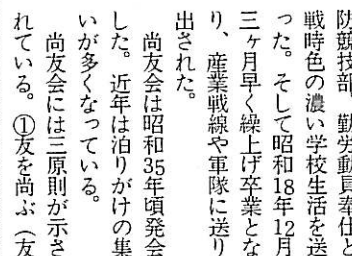
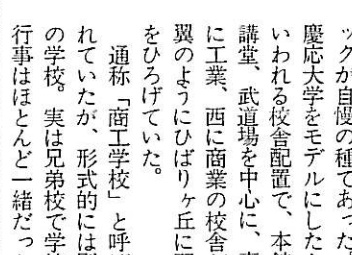
ハゲ増す尚友会

戦争中、生徒はゲートルを巻き、戦闘帽型の学帽に、背番号のランドセルを背負って通学した。

教員、剣道、銃剣術、国防技、勤労動員奉仕と戦時色の濃い学校生活を送った。そして昭和十八年三月早くも繰上げ卒業となり、産業戦線や軍隊に送り出された。

尚友会とは昭和三十五年頃発会した。近年は泊りがけの集いが多くなっている。

尚友会には三原則が示されている。①友を尚ぶ(友



63年度北嶺会事業計画 社会生活相談室案内

【語り手】社会生活相談委員会 委員長 遠藤康夫
【聞き手】広報編集子

編集後記

北嶺会も年々活発になり、事業も多くなってきました。一年間の動きを四頁の紙面にいかに細かく会員に知らせるか編集部一同大変苦労しました。

北嶺会の動きがわかっていただければ幸いです。

編集委員長 内藤 修次
編集委員 清 延吉
編集委員 渡辺 俊六
編集委員 木内久仁彦

社会生活相談室

わが友はすべて戦中戦後を生き抜いてきた。戦争の傷跡をなめ合う仲間である。それでも「昔はよかったな」と灰色の青春を懐かしんでいる。

ふれあい、思いやり、ハゲ増しつつ尚友会は「人生は六十歳から」と頑張っている。

Q 63年度北嶺会総会で事業計画が提案され、大変興味を持ちました。社会生活相談室の開設は、社会生活部長であり、社会生活相談委員長の構想を聞かせて下さい。

A 富士宮北嶺高等学校が創立50周年を過ぎ、一四〇〇〇名の同窓生が夫々の社会で活躍して居ります。地域社会でも又、各企業においても、北嶺魂は粘り強く浸透しておりますが、半世紀の年代の開きは65歳位から18歳まで広がり、急成長社会の中で生活の悩みも、年配者、若者、夫々異なると思います。

それ等の悩みに「気軽に相談出来る、困り事はたが」の様な相談室を作りたいと思います。

Q 委員はどんな顔ぶれですか。

A 19年卒 遠藤康夫・東芝グループ43年勤務。22年卒 矢部(やな)嘉法・富士宮市役所青少年対策室長。28年卒 清延吉・富士宮市急ホテル代表取締役。29年卒 土井明子・土井料理教室経営。51年卒 二又川昭史・富士宮北嶺高等学校在学委員の5名で発足します。どんな相談が寄せられるか心配です。

Q 相談をしたい時は、どこへ連絡すれば良いのですか。

A 母校の事務局へ郵便か電話で相談下さい。

【電話番号】0544-2712533

社会生活相談室はまだ準備中で不馴れな点があります。皆様方で育てて下さい。

Q どんな事でも良いですか。

A 就職相談、結婚相談、職場生活相談、社会生活一般相談等、身の回りから始めたいと考えて居ます。どんな相談室にしたら良いか、ご意見を寄せて下さい。

「北嶺会館」建設の暁には「明るい社会生活相談室」コーナーを設けたいですね。